

第73回駅伝大会

コロナ感染拡大予防等運営ガイドライン

1. はじめに

- (1) 福岡県のコロナ方針及び大学の方針を遵守するものとする。
- (2) 今後、全国や福岡県の感染状況に変化があった場合や政府や各自治体、専門家から新しい見解が示された場合は、随時、本ガイドラインの見直しを行う。
- (3) 本ガイドラインの内容について、参加ランナー、本大会の運営に関係する全ての運営スタッフ（審判員、警備員、責善会体育会、学生生活・健康支援課）全員に周知し、意識・知識・行動を統一する。
- (4) 参加ランナー、関係者、観客へ事前に本ガイドラインを周知し、従うことを前提に駅伝大会に参加、従事させる。参加ランナー並びに関係者、観客は、本ガイドラインを遵守し、安全な大会の運営に協力する。
- (5) 受付の密集を避けるため、受付時間を幅広く取るなど、全体として余裕を持った時間割とする。
- (6) 参加ランナー・大会関係者は、日頃より体調管理を行うこと。
- (7) 大会主催者は、学外の参加者や関係者の、駅伝大会に対するいかなる責任も負わない。

2. 大会参加基準

- (1) 参加ランナー・大会関係者は、日頃より体調管理を行うこと。特に、**大会7日前より毎日、体温を計測し、以下の症状*の有無を、健康記録表に記録して感染予防・健康維持に役立てる。**
*発熱(37.5度以上、あるいは、平熱より1.0度以上)、咽頭痛・咳・嗅覚異常・味覚異常・強い倦怠感・関節痛・筋肉痛・その他の症状(頭痛・腹痛・下痢・嘔吐等)
- (2) 参加ランナー・大会関係者は、上記の症状*を認めた場合には、通学(出勤)を見合わせ、早退・医療機関の受診などの対応を速やかに行うこととする。
- (3) 以下に該当する者は出場(運営スタッフ等は参加)できない。
 - ①基礎疾患のある者
基礎疾患のある者とは、「糖尿病、心不全、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方など」をいう。
ただし、これらの者が理由あって出場(参加)する場合は、事前に主治医か学校医の承認を得ておくことで出場(参加)を許可することもある。
 - ②当日または7日前までに発熱のある者(体温が37.5度以上ある者、平熱より1.0度以上高い者)。
 - ③当日または7日前までに咽頭痛・咳・嗅覚異常・味覚異常・強い倦怠感・関節痛・筋肉痛・その他の症状(頭痛・腹痛・下痢・嘔吐等)がある者。ただし、医療機関を受診し、新型コロナウイルス感染症以外の原因によると診断された場合やPCR検査で陰性が確認された場合等は、学校医に報告し、症状の軽快が確認された場合は出場(参加)を許可することもある。
 - ④開催日1週間前までに濃厚接触した同居家族や、身近な知人にコロナ感染者がいる場合。

3. 感染者、濃厚接触者、感染疑いの者が発生した場合

感染者、濃厚接触者、感染疑い者が発生した場合は、以下のとおり対応すること。

(ア) 発熱した場合

- ①参加当日もしくは7日前までに体温が37.5度以上あるいは平熱よりも1.0℃以上高い場合
参加ランナー・大会に参加する運営スタッフ等(以下同じ)は、参加当日もしくは7日前までに、検温で37.5度以上あるいは平熱よりも1.0℃以上高い場合および前述の症状

が見受けられた場合には、参加を見合わせる。

②他の病気が明らかな場合

①の場合であっても、医療機関を受診し、新型コロナウイルス感染症以外の原因によると診断された場合やPCR検査で陰性が確認された場合等は、学校医に報告し、症状の軽快が確認された場合は出場（参加）を許可することもある。

(イ) 参加ランナー・運営スタッフが罹患もしくは罹患疑いと診断された場合の対応

①医師より罹患もしくは罹患疑いと診断された場合は、参加を禁止する。

(ウ) 同居の家族等がコロナ罹患もしくは罹患疑いと診断された場合の対応

①保健所や医師により、参加ランナー・運営スタッフ等が同居家族や同僚等、感染者の濃厚接触者と判断された場合は、参加を禁止する。

②当該者が濃厚接触者ではないと判断された場合も、当人のPCR検査または抗原検査を行い、陽性の場合は前述①の対応を行う。

4. 大会当日までの日常生活における感染予防対策

参加ランナー、運営スタッフ、観客は、基本的な感染防止策（不織布マスクの着用、手洗い、三密の回避）を徹底する。また、以下の点を遵守する。

①3密（密集・密閉・密接）は可能な限り避ける。

②日常生活で着用するマスクは、ウレタンマスクや布マスクではなく、飛沫感染予防における有効性が高い不織布マスクとすること。

③不織布マスクの着用を徹底し、自分の口と鼻を守り、自身の感染と人への感染を避ける。あごにかけた状態（口と鼻を覆わない状態）で会話を行わない。

④屋外であっても、フィジカル・ディスタンス（できるだけ2メートル、最低1メートル以上）が確保できない場合は、必ず不織布マスクを着用する。

⑤外出先から帰宅した際は、手洗い・うがいを念入りに行う。

⑥車両等で移動時には、30分おきに窓を開けて換気し、会話は最小限とする。

⑦複数人が同時に滞在する居室等では窓などの開放による室内の積極的な換気を励行する。エアロゾルが、屋内に長時間滞留することのないよう、窓やドアなどを可能な限り開放し、換気扇や扇風機等の積極的な使用により、空気が十分に流れるようにする。

⑧健康な体を維持するため、規則正しい生活を送る。

⑨複数で飲食する場合は、以下の点を遵守する等、感染対策を徹底してください。

● 感染防止認証店等、感染対策が徹底された店を選ぶこと

● 飲み会や会食等の開催日の1週間前から当日までの間に、発熱・風邪症状・味覚/嗅覚障害等があった者や感染者と濃厚接触した恐れのある者は、参加しないこと

● 長時間（2時間以上）の会食は控えること

● 会話の際はマスクを着用し大声を出さないこと

● 大人数（5名以上）の会食は控えること

ただし、別添1「感染リスクを避ける飲食店の利用について」による感染対策を参加者全員が遵守することなどを条件に、届出制で認められる場合もあります。届出書は、所属学部、大学院の学生担当係へ提出してください。なお、会食等への参加を、強制したり、強く勧誘してはいけません。

※参加ランナー・運営スタッフは開催日2週間前までにオミクロン株対応新型コロナウイルスワクチンとインフルエンザワクチンの接種を推奨する。

5. 大会当日における注意事項

(1) 移動の注意

①徒歩や車中を問わず、移動中はフィジカル・ディスタンス（できるだけ2メートル、最低1メートル以上）が確保できない場合は、不織布マスクを常時着用する。

②電車やバス、タクシー、自家用車等を利用する場合は、窓を開け換気を行う。また、会話は最

小限にとどめる。

- ③移動前後には、手洗いや手指の消毒を実施する。
- ④会場への往復時は極力どこにも立ち寄らず、飲食物を購入する際は短時間で行う。

(2) 更衣

- ①更衣は、研究室や部室等、各自で済ませた状態で参加すること。待機場所は、グラウンド及びGYMLABO付近とする。ただし、走者の邪魔にならないようにすること。
- ②各自で更衣する際は、更衣室の利用人数を制限し、会話を控え、順番に利用する等、密を回避すること。

(3) 受付

- ①受付は、密を避けるため、可能な限り広い場所で実施する。
- ②参加者や観客には必ず不織布マスクを着用させる。
- ③受付時、消毒液を設置し、消毒を徹底させる。
- ④消毒と併せて検温を実施し、37.5度以上あるものや平熱より1.0度以上高いものは参加させない。
- ⑤大会7日前から健康記録表を用いて、健康管理をする。
- ⑥受付終了者は、指定された場所に移動し、待機する。
- ⑦体調不良者、感染者、濃厚接触者は参加させない。

(4) 開閉会式、スタートおよびゴール時

- ①開会式および閉会式の時は不織布マスクを着用し、走る時のマスクの着用は不要とする。
- ②外した不織布マスクは参加ランナーが管理する。
- ③ゴール後は、息が整い次第、不織布マスクを着用する。

(5) 救護体制

大会主催者は、怪我人や体調不良者が出た時のために救護員を手配しておくこと。怪我人や体調不良者が出た場合は、救護員の指示に従い、対応する。

(6) その他

- ①本部をはじめ、可能な限り多くの場所にアルコール消毒液等を配置する。
- ②マイク等の備品を共有する場合は、使用する度に毎回消毒する。
- ③トイレ使用時は、ふたを閉めて流す。また、手洗いも必ず行う。
- ④時間に余裕を持って行動するように求める。
- ⑤主催関係者は、選手と必要以上に接触しないようにさせる。
- ⑥不織布マスクの着用を徹底し、自分の口と鼻を守り、自身の感染と人への感染を避ける。あごにかけた状態（口と鼻を覆わない状態）で会話を行わない。
- ⑦飲み物は各自で持参し、回し飲みしないこと。
- ⑧タオルは各自でマイタオルを持参し、共用はしないこと
- ⑨大会で出たごみは、各自が持ち帰り廃棄をする。
- ⑩会場に万が一、不織布マスク等が落ちていた場合は、使い捨て手袋着用の上、清掃トングを使うなど直接手に触れないことを徹底する。
- ⑪すべての参加者において敷地周辺で喫煙は絶対にしないこと。

6. 観客の注意事項

- ①開催地の感染状況にあわせて応援について検討する
- ②観客には、不織布マスクの着用、手指の消毒などを遵守するよう協力を求める。
- ③マスクを外しての声援、ハイタッチ、私設エイドは禁止する。
- ④観客申し込み者に対しては、氏名、連絡先の報告を求める。
- ⑤沿道の中でも特に混雑が予想されるエリアについては、フィジカルディスタンスを確保する

よう協力を求める。

7. 大会終了後の注意事項

(1) 打ち上げ等を行う場合は、以下の点を遵守する等、感染対策を徹底してください。

- 感染防止認証店等、感染対策が徹底された店を選ぶこと
- 飲み会や会食等の開催日の1週間前から当日までの間に、発熱・風邪症状・味覚/嗅覚障害等があった者や感染者と濃厚接触した恐れのある者は、参加しないこと
- 長時間（2時間以上）の会食は控えること
- 会話の際はマスクを着用し大声を出さないこと
- 大人数（5名以上）の会食は控えること

ただし、別添1「感染リスクを避ける飲食店の利用について」による感染対策を参加者全員が遵守することなどを条件に、届出制で認められる場合もあります。届出書は、所属学部、大学院の学生担当係へ提出してください。なお、会食等への参加を、強制したり、強く勧誘してはいけません。

(2) 大会に参加した参加ランナー・関係者が罹患と診断された場合の報告と対応

- ①大会終了後、2週間以内に医師により罹患と診断された場合は、速やかに保健センターに連絡し、大学の指示に従って対応する。

以上

健康記録表

チーム名 _____

氏名 _____ 電話番号 _____ mail _____

◎下記の健康状態について、自身で症状の有無を記載してください。

	7日前	6日前	5日前	4日前	3日前	2日前	前日	当日
	12月10日	12月11日	12月12日	12月13日	12月14日	12月15日	12月16日	12月17日
体温（℃）								
強いだるさ								
息苦しさ								
のどの痛み								
咳やたん								
味覚、嗅覚の異常								
その他（下痢等）								

●私は、この健康記録表の記載内容に虚偽がないことを誓います。

また、今大会のコロナ感染拡大予防ガイドラインを遵守することに同意します。

氏名（自署）

第73回学内駅伝大会

感染リスクを避ける飲食店の利用について

別添1

2022年10月5日福岡県

飲食店の遵守事項

利用者の遵守事項

レストラン・居酒屋等

- 業種別ガイドラインを実践し、感染防止対策に取り組んでいることを客観的に示すことができる「感染防止認証マーク」の取得申請に努める
- 利用者間の距離の確保等
 - ・座席は、真正面の配置を避け、座席間隔を1m以上確保又は テーブル上にアクリル板を設置し区切る
 - ・テーブル間やカウンターは1m以上の間隔をあけるか、アクリル等で区切る
- 30分に1回、5分程度2方向の窓を全開等で十分な換気を確保する
- 利用者への呼びかけ等
 - ・飲食時以外のマスク着用を徹底するよう促す
 - ・入店時に検温・手指消毒を促す
 - ・利用者同士のお酌、グラスの回し飲み、大声での会話は避けるように促す
 - ・飲食の時間は、長時間とならないよう促す
 - ・座席・テーブルを移動する場合は、人との距離を確保するよう促す
- カラオケ設備の利用店
 - ・マイクやリモコン等は、利用する者が変わる都度、必要に応じて消毒を行う。カラオケボックス等は、各部屋に消毒設備を設置
 - ・飲食を主として業としている店舗(スナック、カラオケ喫茶等)においては、特に換気や人との距離の確保を徹底する

- 予約時
 - ・県の第三者認証を受けた認証店をはじめ、業種別ガイドラインに示されている感染防止対策を遵守する飲食店を利用する
- 利用時
 - ・利用する飲食店の感染防止対策を守り、協力する
 - ・飲食時以外はマスクを着用する
 - ・入店時に検温・手指消毒を行う
 - ・利用者同士のお酌、グラスの回し飲み、大声での会話など、感染リスクが高まる行動は控える
 - ・飲食の時間は、長時間を避ける
 - ・座席・テーブルを移動する場合は、人との距離を確保する
- カラオケ設備の利用
 - ・歌唱の際はマスクを着用し、人との距離を2m以上確保する
 - ・マイク等は、利用する者が変わる都度消毒を行う
 - ・座席の間隔を1m以上確保し、正面の着座は避ける

宴会場

- 業種別ガイドラインを実践し、感染防止対策に取り組んでいることを客観的に示すことができる「感染防止認証マーク」の取得申請に努める
- 利用者間の距離の確保等
 - ・着席形式で行う場合は、座席は、真正面の配席を避け、座席間隔を1m以上確保又はテーブル上にアクリル板等を設置し区切る
 - ・立食形式で行う場合は、会場の広さや参加者数等を踏まえ、人との距離(最低1m)を確保する
 - ・テーブル間は1m以上の間隔をあけるか、アクリル板等で区切る
 - ・挨拶者(ステージ)と参加者間との距離は2m以上確保する。又はアクリル板等を設置し区切る
- 換気の徹底
 - ・換気用機械や扉の開放等により場内換気を行う
- 利用者への呼びかけ等
 - ・主催者に対し、参加者を把握できるよう事前登録制などを促す
 - ・飲食時以外はマスクを着用するよう、場内アナウンス等により促す
 - ・入店時に検温・手指消毒を促す
 - ・利用者同士のお酌、グラスの回し飲み、大声での会話は避けるよう促す
 - ・飲食の時間は、長時間とならないよう促す
 - ・座席・テーブルを移動する場合は、人との距離を確保するよう促す
 - ・立食形式の場合は、人との距離を確保したコミュニケーションを行うことや、会話の際はマスクを着用するよう促す

- 予約時
 - ・県の第三者認証を受けた認証店をはじめ、業種別ガイドラインに示されている感染防止対策を遵守する飲食店を利用する
 - ・着席形式で行う場合は、参加見込み数をもとに人との距離(着席時1m以上)が確保できる広さの会場を選定する。
 - ・立食形式で行う場合は、会場の広さや参加者数等を踏まえ、人との距離(最低1m)を確保できることを確認する
- 利用時
 - ・利用する宴会場の感染防止対策を守り、協力する
 - ・飲食時以外はマスクを着用する
 - ・入店時に検温・手指消毒を行う
 - ・利用者同士のお酌、グラスの回し飲み、大声での会話など、感染リスクが高まる行動は控える
 - ・飲食の時間は、長時間を避ける
 - ・座席・テーブルを移動する場合は、人との距離を確保する
 - ・立食形式の場合は、人との距離を確保し、会話の際はマスクを着用する

年 月 日

飲み会、会食等に係る届出書

代表氏名 : _____ (自署)

学生番号 : _____

所 属 : _____

電 話 : _____

E-mail : _____

以下のとおり新型コロナウイルス感染症への対策を講じ、飲み会、会食等することについて届け出します。

実施期間	月 日 () ~ 月 日 ()	参加人数	学内 名、学外 名
実施場所			
チェック欄	<確認>		
	<input type="checkbox"/>	飲み会・会食等の開催日の1週間前から当日までの間に、発熱・風邪症状・味覚/嗅覚障害等があった者や感染者と濃厚接触した恐れのある者は、参加させません	
	<input type="checkbox"/>	当日の参加者のリストを作成し、2週間は保管します	
	<input type="checkbox"/>	利用する飲食店の感染防止対策を守り、協力します	
	<input type="checkbox"/>	飲食時以外はマスクを着用します	
	<input type="checkbox"/>	入店時に検温・手指消毒を行います	
	<input type="checkbox"/>	利用者同士のお酌、グラスの回し飲み、大声での会話など、感染リスクが高まる行動は控えます	
	<input type="checkbox"/>	長時間（2時間以上）の会食は控えます	
	<input type="checkbox"/>	座席・テーブルを移動する場合は、人との距離を確保します	
	<input type="checkbox"/>	上記の確認事項を遵守し、参加者全員に周知徹底します	